

風しんぶん



浜松にふさわしい施策は？

まちづくりフォーラム

大激論！

第2弾

今こそ夢ある都心再生を考えよう

暦の上では冬を迎え、冷気が日ごと加わり始めた11月7日(土)、浜松市立東小学校体育館にてまちづくりフォーラムを開催しました。

第1回のフォーラムの際、参加者の皆さんに“都心は必要か、必要でないか”を投げかけたところ、多数の方が都心は必要との回答がありました。都市計画は必ずしも市役所や専門家が行うわけではなく、市民のみなさんが「自分のまち」がこうなって欲しいという思いから“まちづくり”を進めることがあっていいはずです。

基調講演「都心再生への道筋・市民提案のあり方」

講師 大西隆さん(東京大学大学院 教授)



都市工学者であり、国土計画・地域開発・都市開発を専門とされている東京大学大学院教授の大西隆さんから「都心再生への道筋・市民提案のあり方」についてお話をいただきました。これから人口が減っていく逆都市化時代になっていく中で、高松市、富山市などを例にあげ、それぞれにふさわしい施策を考えていくことの必要性についてお話されました。また、最近行われた都市開発の中では数少ない成功例である高松市丸亀町商店街や地方分権によるまちづくりについてもお話をされ、浜松に合うルールを決めてまちづくりをしていくことの大切さや、市民がまちづくりに参加し支援をするといった協働の仕組みが大事だと提言されていました。

市民討議

浜松の中心市街地はどうか？



基調講演後、市民討議にうつり、“浜松の中心市街地はどうか？”について議論を交わしました。大西先生も何度か訪れた浜松の印象から、浜松のまちなかはよく整備されているが通行者が少ないとのお話がありました。浜松市外から来られた参加者からはとても政令指定都市とは思えなく、都市計画の構造上の問題ではないかとの意見がありました。浜松は車社会であり、公共交通を利用して出かける人が少なく、中心市街地が寂れても困る人が少ないのが現状のようです。従来型の商業活性化は難しく、発想の転換をし、整備されているものをどう利用するかを考えることが必要になってくるとの意見がありました。中心部のアーケード問題、郊外から市街地にでてくる交通手段・郊外での交通整備の問題、市街地の文化施設問題など活発な意見が多数出ました。前回、今回のフォーラムを通して皆さんの浜松を愛する気持ち、浜松をなんとかしたい気持ち、熱い思いを感じることができました。これまでのフォーラム、オフ会の意見をふまえた上で、市民提案としてまとめ、第3弾フォーラムで発表する予定です。



次回「大激論！今こそ夢ある都心再生を考えよう」オフ会は2010年2月6日(土)、第3弾は2月20日(土)を予定しています。

ノーカーデーはままつ 2009 市民フォーラム

自動車に過度に依存した生活を見直して、公共交通機関や自転車などを利用した環境にやさしい暮らしを考えようと、「ノーカーデーはままつ 2009」を行いました。10月24日(土)、静岡文化芸術大学にて開催された市民フォーラムで報告された、ノーカーデーの取組みをレポートします。



チャレンジアクション . . . 車に乗らない1週間

浜松では車が無ければ生活できないと、誰もが思い込んでいます。ならば、あえて車に乗らない1週間に挑戦してみよう! ということで、「広報はままつ」でモニターを公募し、41人の市民が果敢にチャレンジしました。実施期間は8~9月の中のおおむね1週間、車から乗り換えたのはバス・鉄道 23名、自転車 9名、アシストつき自転車 5名、徒歩 4名でした。モニターの3人に、チャレンジの内容や体験の感想を報告してもらいました。

チャレンジモニター	磯部義久 さん 	安富靖二 さん 	増田愛美 さん 
代替交通手段	自転車	自転車	電動アシスト付自転車
走行距離	6 2 2 km	3 5 0 km	5 0 km
実行期間	2 8 日	1 6 日	5 日
CO2 削減量	1 0 7 . 4 kg	5 9 . 5 kg	8 . 5 kg
参加した感想	<ul style="list-style-type: none"> ・東区の自宅から袋井の会社まで片道 1 7 km、山あり川ありの難行程。初日の帰宅時には充実感から、思わず涙があふれてきた。 ・この挑戦で体重が 2 kg 減り、筋肉がついて健康になった。 ・自転車に乗ることで自然を肌で感じ、発想が前向きになる。 ・自転車にとって道路が危険であることに気づいた。車を運転する時の安全意識が変わった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浜北区の自宅から東区の会社まで片道 1 0 km、雨の日や仕事で車が必要な日は、自転車に乗らないと決めている。 ・自転車に乗るようになり、道路が単なる「移動空間」から多くの市民が共有する「生活空間」であると感じた。 ・自転車は、爽やかな気分で通勤ができ、仕事の効率が上がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中区の自宅から東区の会社まで片道 6 km。汗をかかない程度の速さで 30 分くらい。 ・車での所要時間と大差なく不便は感じなかった。 ・仕事の関係であまり自転車に乗れなかったのが残念。 ・無理なく走ったので、風や季節が感じられて爽快だったが、車の排気ガスが少し気になった。

モニターとして参加したほとんどの人が、地球温暖化を防ぐためには車の利用をできるだけ減らしたほうがいいと考えていて、このチャレンジが車の利用を見直すきっかけになったと話しています。代替交通手段として、健康に良い自転車が評価される一方で、バスや鉄道などの公共交通機関は、時間・路線・料金などの点で、利便性に課題があるとの意見が寄せられました。また自転車や歩行者など交通弱者に対して安全な道路整備を望む声や、交通安全マナーの向上を訴える意見がありました。今回のチャレンジによる CO2 削減の総量は 899 kg で、杉の木に換算すると 64 本になりました。

ノーカーデーはままつ in 秋穫祭

はままつ秋穫祭のイベント会場で、環境にやさしい電気自動車の「エコモビリティ展示」や「交通アンケート」「道でお絵描き」を実施し、「ノーカーデーはままつ 2009」を PR しました。

エコモビリティ展示



(株)Takayanagi さんが手づくりで製作した、電動自動車「ミルイラ」を展示。ナンバープレートが付いていて、自走で会場へ到着。注目を集めていました。

道でお絵描き



普段は車が通る道路も、この日は歩行者天国。地面に広げた大きな紙に、自由にお絵かきしてもらいました。子供も大人も、みんなの笑顔が印象的でした。

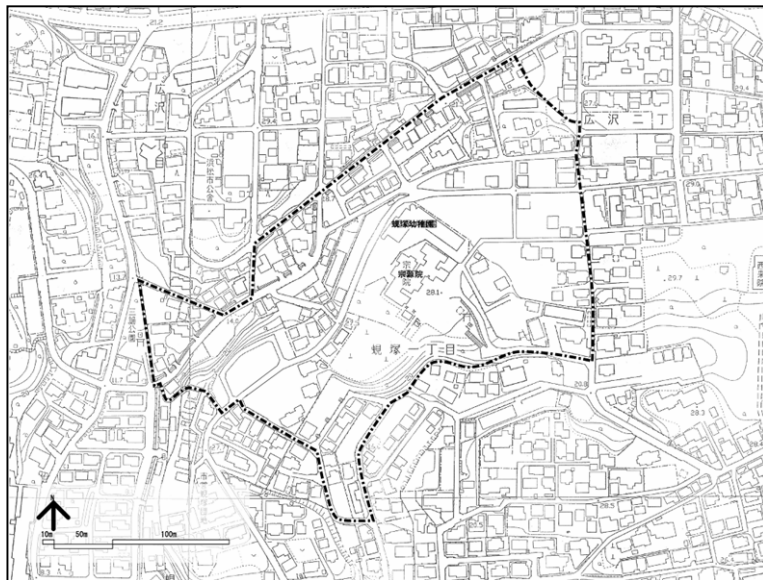
蛸塚二区まちづくり協議会

地域住民の申し出による地区計画決定！



蛸塚二区地区は、浜松駅の西 2.2km 程に位置する蛸塚一丁目の一部。地区内及び周辺には、宗源院、成瀬谷、三謡公園、大鱸谷、歴史の散歩道、的場ヶ丘のベテルホーム跡、聖隷発祥の碑などの歴史資源が点在し、主として低層の住宅が建ち並ぶ閑静で落ち着いた住宅地です。

平成 15 年の夏頃、地区内にあった市営住宅跡地が将来売却されて高層マンションが建設されることなどを懸念した地元有志が、跡地の有効活用に関する活動を開始しました。平成 17 年 10 月、浜松市の住民協議推進条例に基づく協議会として、蛸塚二区まちづくり協議会が認定され、まちづくりセンターを通じて市の支援を受けながら市営住宅跡地利用と地域の住環境の整備・保全について話し合ってきました。また、平成 18 年 9 月には NPO 法人の法人格も取得し、同時に地域のコミュニティ育成の活動を継続しています。



蛸塚二区地区計画区域図

この地区は、古くからの住宅街でそれぞれの住宅が隣接しており、道路事情も決して良いとは言えません。みんなでまち歩きをしたり、まちについて話し合ったりすることで、いろいろなことに気付いたり、改善したいと思ったりすることが出てきました。協議会では、何度も話し合いや現地調査などを重ね、土地の利用の仕方や建物の建て方についての約束事を定める「地区計画」の原案を作成しました。その後、地域住民の方への説明会を経て多くの方の同意署名をいただき、平成 21 年 4 月、地区計画手続条例に基づいて地区計画(原案)として市へ申し出されました。

原案は市による公告縦覧や都市計画審議会への諮問などの手続きを経て、平成 21 年 11 月 21 日付けで「蛸塚二区地区計画」として都市計画決定されました。地区計画では、建物の用途、隣地境界からの壁面の位置、建物の高さ、屋根・外壁の色、看板・広告物、ブロック塀やフェンスなどについて、様々な約束事が定められています。

市営住宅の跡地は、地域住民の健康・医療・福祉の拠点として、平成 20 年にデイサービスセンターと障害者授産施設がオープンし、また、小公園としての整備も予定されています。地域のコミュニティイベントや小公園予定地の管理などは施設と地域が一体となって取り組んでいます。

蛸塚二区地区では、地区計画で掲げた目標「地域の歴史や特性を踏まえ、緑豊かで落ち着いた質の高い住環境を保全すると共に、住民が安心して暮らせる、住み良いまちづくり」を目指し、地域住民が一丸となって、今後も楽しみながらまちづくり活動に取り組んでいく予定です。



小公園予定地にはひまわりを植えたりして、地域みんなで管理しています。



みんなでまち歩きや調査を行って、まちを“点検”しました。



地域の住環境保全のためにはどうしたらいいか？みんなで知恵を絞りました。

や森林を知ってほしい！

まちづくり楽校「森林の木を知ろう！」



さわやかな秋晴れの10月11日(日)、まちづくり楽校「森林の木を知ろう！」を開催しました。浜松市の面積の約7割は森林です。そんな身近な森林について知ってもらおうと天竜森林組合さんの協力のもと、森林の役割や山を管理する仕事、木の葉、木の実の見分け方などについて学んだ後、木工クラフトに挑戦しました。

まずは、天竜森林組合の青山さんのお話です。天竜区には、森林の80～90%が人工林という全国でもめずらしい地域があり、こうした天竜川上流の大森林が私たちの生活に欠かせない生活用水を支えていると紹介されました。

また、今も昔と変わらず1本1本手作業で苗木を植えているそうですが、人の手で植えた苗木は弱く、草刈りや枝おろし、間引きなどの作業が必要なのだそうです。そして今、抱えている問題は、植林をして40～50年経った木がうっそうとし、地表が真っ暗な状態になっていることを挙げ、虫も動物も来ない死んだ森林にならないよう、理想の森林を目指したいと話されました。

次は、天竜森林組合の鈴木さんと尾田さんより、スギ、ヒノキ、マツ、コナラの4種類の木の葉や実、木材などの名前当てや針葉樹と広葉樹の違いなどを教えていただきました。実際に実物に触れ、見た目だけでなく手触り感、匂い、重さなど、それぞれの特徴を理解することができました。

そして、いよいよ木工クラフトです。のこぎりで切った丸太で大作に挑戦したり、ビーズやスパンコールで細かな装飾をしたりと、個性ある作品が出来上がっていき、大人も子どもも時間を忘れ、夢中で取り組んでいました。

組合長さんからお話



これは何の葉っぱだろう？



これは何の木だろう？



こうやって削るんだよ



ヤマタケの蔵に集合してご挨拶！この蔵と前の広場を整備して、地域観光の拠点となる予定です。

まちの“お宝”紹介!!

まちづくり楽校「再発見！二俣てくてくまち歩き！」

11月15日(日)、楽しみながら地域の歴史・文化・自然などの地域資源を再発見できる「まちづくり楽校 再発見！二俣てくてくまち歩き！」を開催しました。11名の一般参加者は、二俣みがきの会の案内によりヤマタケの蔵をスタートし、クローバー通り、横町通り、諏訪町通り、二俣川河岸などを歩き、二俣のまちに今も生きる蔵、歴史的建築物や看板建築、二俣川など、魅力あふれるまち並みをガイドの説明を聞きながら散策しました。

二俣のまちは、古くから陸運・水運共に交通の要衝であり、二俣城の城下町として発展しました。かつては木材や繭の集積所としても栄え、遊郭や芝居小屋、料理屋、旅館などが軒を連ねた時代もありましたが、戦後の高度経済成長期以降はまち全体が徐々に活力を失い、現在では高齢化が進み、シャッターを閉じた商店が目立つようになっています。しかし、こうした歴史を背景に、二俣城や神社・仏閣など数々の名所が点在し、また、ほとんど戦災を受けていないこともあって、古くからの街並み・建物が色濃く残る地域でもあります。このような魅力ある地域資源を少しでも多くの人達に伝えたいという思いのこもったガイドの説明に、参加者のみなさんは聞き入っていました。



あさの洋品店の蔵は、二俣で唯一の伊豆石の蔵。座敷蔵になっていて、戦時中には作家の有吉佐和子さんがここで疎開生活を送ったそうです。



宅地と宅地の間を一人がやっと通れるような小路もあります。こんな狭い小路が多いのも二俣のまちの魅力！



横町通りには、町屋形式や土蔵造りの商家が並んでいます。

第87回「家康と朝鮮通信使」

9月30日(水)



お話しは・・・
澤田 ひろ子さん
(静岡県余暇プランナー協会
西部支部)

朝鮮通信使とは、唯一正式な外交関係を結んだ朝鮮王国から江戸幕府へ派遣された使節団のことで、3～500人の大部隊が計12回来日しています。それ以前の両国の関係は、秀吉の朝鮮出兵により断絶していましたが、室町時代に行われていた通信使を使い家康がもう一度関係を築いてくれたそうです。最初の頃の通信使は、秀吉が日本に連行した人達を連れ帰る目的もあったそうで、歴史背景や行列の様子、日本の対応など詳しく紹介していただきました。

第88回「広がるひまわり笑顔の輪」

11月21日(土)

ひまわりを植えてまちを元気にしようと活動を始めて4年。馬込川沿いの小さな空き地から始めた活動は、米津町や内野の土地(畑)も加わり、夏はひまわり、冬は菜花や野菜作りと、地域に溶け込みながら活動されている様子を紹介していただきました。また、種を食用油にすることも考えているそうで、実際に手動の搾油機で収穫した種から油を搾るところを見せていただき、みなさん興味津々で質問をされていました。「私たちの想いを拾った方がいろいろな形で表現してくれれば。」とこの日も参加者と新たな交流が生まれました。



お話しは・・・
ひまわり2525プロジェクト
のメンバー

第89回「今、山で何が起きているか！～広く、静かに進行する食害～」11月26日(木)



お話しは・・・
鈴木健一さん・久保田省さん
(NPO法人天竜川・杣人の会)

食害によって山肌の崩壊、谷川の汚濁・埋没による土石流、急激な堆積によるダム機能の低下が引き起こるそうです。天然記念物に指定されているニホンカモシカ、ニホンジカやツキノワグマからの被害が最も多く、防除柵や忌避剤、クマよけロープなどで対策はされているそうですが、費用が多額な点や100%の防除にはならない点で苦慮されているそうです。山の問題を様々な角度から勉強し、研究することによって山の持つ本来の役割や大切さをより多くの人びとに知ってもらいたいと話されました。

第90回「就職応援！カラーコーディネート」

12月6日(日)

就職活動をするとき、必ずあるのが面接。面接では企業の方、担当の方にどういった印象で自分を売り込んでいくのが重要なポイントになってきます。色の持つメッセージ性を自分の色調に合わせて選んでいくことや相手企業の目線に立って活動することが大切と牧野さんはおっしゃっていました。実際に参加者の皆さんが色によってどう変わるのかドレープという布を顔の近くに置き、印象の違いや顔映りが良いものを選びました。それぞれ担当のカラーアナリストの方に様々な質問をぶつけ、就職活動に活かそうと真剣な面持ちでした。



今回は・・・
牧野怜子さん&カラーアナリスト
の皆さん(街の色彩を考える会)

第91回「まちの中にいる猫を考えよう！！～猫の数が減少する事で問題点の多くが解決するよ～」12月6日(日)



お話しは・・・
新見 正子さん
(捨て犬！捨て猫！ゼロの会)

捨て犬、捨て猫をする人を無くそうと平成19年4月に発足し、飼い主のいない猫の不妊手術を一部助成する「猫基金」という事業を行っています。かわいそうだからと野良猫に餌をやれば猫はどんどん増え、猫が嫌いな人はますます嫌いになる悪循環から抜けるには「猫を増やさない」という選択もあることを教えていただきました。野良猫の寿命は大体5～6年。猫好きな人も嫌いな人もどうでもいい人も譲歩し合い、大人が率先して命を大事にする行動を起こすことが大切で、こうした大人がたくさん地域で活動することを願っているそうです。

今までの展示

静岡県余暇プランナー協会 西部支部さんによる「朝鮮通信使展」を9月25日(金)から10月9日(金)まで開催いたしました。朝鮮通信使は、江戸時代朝鮮国王から幕府に派遣された外交使節団です。静岡県には10回も訪れています。今回は朝鮮通信使の足跡をたどるウォークの紹介、交流事業の紹介などの展示を行いました。



世界遺産の会さんによる「私が出会った世界遺産」写真/ビデオ展を10月11日(日)から22日(木)まで開催いたしました。日本の姫路城や白川郷、海外のブルゴス大聖堂など約70点ほどの写真やDVDを展示、上映しました。一枚一枚の写真には、撮影者の世界遺産に対する心模様が写しだされており、訪れた人たちはじっくりと写真を見ていました。

第24回国民文化祭静岡県実行委員会さんによる「第24回国民文化祭しずおか2009」を10月24日(土)から11月8日(日)まで開催いたしました。「いま・むかし写真展in浜松」と題して、浜松各所、同じ場所の現在の様子と昔の様子が写真で比較することができ、「こっぴょうなっていたんだあ」「全然違うね」「なつかしい」などの感想が聞こえてきました。



高橋勇夫さんによる「地域にまつわる歴史イベント写真展」を11月11日(水)から30日(月)まで開催いたしました。関ヶ原の合戦400年祭、掛川城開門まつり、静岡葵博など、近年行われた戦国時代を中心とした地域にまつわる歴史イベントを浜北区在住の記録写真家・高橋勇夫さんが撮り続けてきた写真や絵で紹介しました。

浜松地域材利用促進協議会さんによる「木のすまいデザインコンクール優秀作品展示会」を12月4日(金)から18日(金)まで開催いたしました。木のすまいデザインコンクールは昨年に引き続いて今回が第2回。天竜産の杉や桧など浜松の森林より採れた木材を利用した住宅を紹介しました。

UD学習

9月から11月の間にもたくさんの小中学生のみんながユニバーサルデザイン(UD)を学びに来ました。

UDは男の人、女の人、右利きの人、左利きの人、子ども、お年寄り、妊婦さん、ベビーカーを押している人、怪我をしている人、外国の人など誰もが使いやすくて暮らしやすくなるための設計や考え方です。「こうでなくちゃ」ではなく、「こうなったらいいな」と変化していくのがUDです。設備や道具の整備だけでなく“人にやさしく”という「心のUD」が重要であることを学んでいただきました。



(参加校)

舞阪小学校4年生、可美小学校4年生、天竜中学校、和田小学校5年生、金指小学校4年生、花川小学校4年生、砂丘小学校6年生、葵西小学校4年生

新たに加わったまちづくり関係団体

(12月20日現在)

No.	団体名	活動の分野	紹介
160	捨て犬!捨て猫!ゼロの会	環境	捨てられる命について考え一緒に行動する会です。捨て犬猫をする人を無くす(ゼロ)ことを目的とします。
161	TOSSジャルダン	教育	子どもにとって価値ある教師(教え方のプロ)になることをめざし、授業技量を高め日々教師修行に励んでいます。
162	浜松United Children	コミュニティ	浜松市内の中・高校生で構成する団体です。会員自身で企画・運営を行い、使命は「未来の日本・世界を動かす人を創る」です。

「音楽のまち」合唱講習会2009

今年度の講師は、合唱界の人気者“作曲家・信長貴富”氏です。
信長氏による浜松での講習会は、今回が初めてです。

H22. 2 / 28 (日)

児童 10:00 ~ 12:00 女声 13:00 ~ 14:45 混声 15:00 ~ 16:45

10:00 ~ 16:45

- 講習 児童合唱 講習曲:「未来へ」「遠く」
- 講習 女声合唱 講習曲:“思い出すために”より「ぼくが死んでも」「種子」
- 講習 混声合唱 講習曲:「櫻の木のように」「翼ある歌」

受講料:1講座につき 高校生以下600円、大学生・一般1,000円

一日通し券 高校生以下1,400円、大学生・一般2,400円

締め切り:平成22年1月6日(水)

(ただし、各講座の定員150名に達した時点で締め切ります)

会場:アクトシティ浜松音楽工房ホール(研修交流センター2階)



申込み・問合せ先

TEL / FAX

053-471-2727

浜松市合唱連盟事務局

高橋まで

子育てあんしんセミナー

赤ちゃん・ママと・パパと・みんなで いっしょに幸せになる子育て



子育てって、ほんとはもっと楽しくて、豊かなもののはず。

迷ったり悩んだりしている、すべての子育て中の人に、とびきり元気になれる講座を贈ります。

セミナー内容

♡ 子育てトーク [赤ちゃんパパ&ママのコミュニケーション術
子育てが楽しくなる、ベビーウエアリングという魔法]

♡ “北極しろくま堂”店主直伝! スリング使い方講座 ♡ 質問タイム

託児は、
生後半年~3歳
抽選で15名まで
(有料:ひとり500円)

セミナー申込み方法

- ・参加者氏名(ふりがな)・連絡先住所
- ・電話番号/FAX番号
- ・託児希望の場合は子どもの名前(ふりがな)、性別、年齢 1/29(金)まで
- ・親子席希望の方は「親子席希望」としてお子さんの年齢と人数
- ハガキ・ファックス・Eメール・電話で2/5(金)まで

【場所】あいホール 2Fホール

【講師】園田 正世さん

【対象】妊婦さん、子育て中のパパ&ママ、子育てに関わる人誰でも

【定員】100名(先着順に受付)

【問合せ・申込先】NPO法人はままつ子育てネットワーク ぴっぴ

〒430-0929 浜松市中区中央三丁目4番18号

TEL:053-457-3418 FAX:053-457-2901

Eメール:k-jouhou@mild.ocn.ne.jp

H22. 2 / 13 (土)

10:30~12:00 (10:00開場)

詳しくはこちらをご覧ください <http://www.hamamatsu-pippi.net>

モバイルサイト <http://hpnk.jp>

映画「犬と猫と人間と」上映&トークショー

町を歩けばあちこちで目にする光景 - 散歩中の犬や路地裏でくつろぐ野良猫たち。しかし、全ての犬や猫が幸せな一生を送れるわけではありません。空前のペットブームの影で、日本で処分される犬と猫は年間30万頭以上。一日に1,000匹近くが殺されている現実があります。あなたは、犬と猫たちのことをほんとうに知っていますか?

【前売券】1,200円(売上の一部は動物福祉支援基金に寄付されます)

【場所】シネマイーラ(中区田町315-34、有楽街北口笠井屋ビル3階)

【問合せ先】シネマイーラ053-489-5539

H22. 1 / 9 (土) ~ 29 (金)



まちづくりセンターでも前売券が買えるよ!

静岡県営遠州灘海浜公園リサイクルフリーマーケット



10日(日)、23日(土)

14日(日)、27日(土)



14日(日)、21日(日)

10:00~14:30

広い公園内には、球技場、木製遊具、サイクル広場、自然生態観察園、憩いの広場、多目的(芝生)広場など様々な施設があり、四季折々の自然が楽しめます。

【場所】静岡県営遠州灘海浜公園(南区江之島町字白鳥山1706)

【駐車場】無料

【出店料】1,500円(開催日の5日前までにお申込みください)

【主催】浜松文化フォーラム

Tel:090-9228-1823

E-Mail:info.hamamatsu-bunka-forum@auone.jp

★ ★ センターからのお知らせ ★ ★

フォーラム

昭和の輝き「住吉浄水場の魅力を探る」

H22. 1月24日(日)

13:00~16:30(受付は12:30~)

ワクワク・ガイドツアー: 13:00~14:00
 フォーラム: 14:00~16:30(途中休憩あり)
 基調講演
 後藤 治(工学院大学教授・建築史・保存修復)
 会場 見学会: 住吉浄水場ポンプ室
 フォーラム: 住吉上下水道部2階会議室
 定員: 100名
 参加費: 無料
 見学会開催までは、蓄音機でレコード鑑賞会を開催。

申込み・問合せ先
 (社)静岡県建築士会浜松支部 浜松市中区田町 226-6
 TEL: 053-454-9004 FAX: 053-454-9030
 FAX、または電話にてお申込みください。
 「旧常光取水場ポンプ室」ワクワク見学会
 H22.1.24 10:00~11:00までの限定
 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
 ＊写真展「全国の近代水道施設」も開催します ＊
 ＊1/9(土)~23(土)9:00~21:30(火曜日をのぞく) ＊
 ＊まちづくりセンター1Fサロンにて 入場無料 ＊
 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

まちづくり夜楽塾

H22.
 1月18日(月)
 19:00~20:30

中小企業の生き残る道(経営革新事例)

~内装屋が始めた創業支援「いきなりチームワーク」~

今回のお話は・・・上野 勲さん(インテリア研究事務所 代表/インテリアコーディネーター)
 岩崎 美紀さん(BSC研究会 代表/中小企業診断士)



カンボジアの子ども図書館寄贈活動

—子供たちの笑顔と目の輝き—

今回のお話は・・・小杉 太一さん(社団法人シャンティ国際ボランティア会)

H22.

2月19日(金)

19:00~20:30

センター祭

第8回

浜松まちづくりセンター祭



H22. 2/27(土), 28(日) 10:00~16:00 入場無料

詳細は近日発行予定のプログラムをご覧ください

浜松まちづくりセンターは(財)浜松まちづくり公社が指定管理者として管理運営を行ってきましたが、平成22年4月1日から市民協働センターに生まれ変わります。

市民協働センターは市民協働を推進するための拠点として、市民活動(市民及び事業者が自主的に参加して自発的に行う営利を目的としない活動であって社会貢献性をもつもの)を促進することにより、市民、市民活動団体、事業者及び市が協力し、及び連携して公益の増進を図り、豊かで活力ある市民主体の地域社会を築くために設置される施設です。

浜松まちづくりセンター通信「はままつ風しんぶん」

発行: 浜松まちづくりセンター(平成21年12月)
 430-0929 浜松市中区中央1-13-3
 (財)浜松まちづくり公社(指定管理者)
 ☎053-457-2616 FAX053-457-2617
 メール: h-m-c@msi.biglobe.ne.jp
 HP: <http://www.hamamatsu-machi.jp/center/>
 開館日 9:00~21:30(月・水・木・金・土・日)
 火曜日9:00~17:00(研修室の利用のみ)

